

製品名: JAG1 (10E17) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12811**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	134kDa

抗原情報

遺伝子名	JAG1
別名	JAG1; AGS; AHD; Alagille syndrome; CD339 antigen; HJ1; Jagged1; JAGL1; Jagged; Jagged 1; Protein jagged-1; AWS; CD339; Soluble protein jagged;
遺伝子 ID	182.0
SwissProt ID	P78504
免疫原	ヒト Jagged1 の合成ペプチド

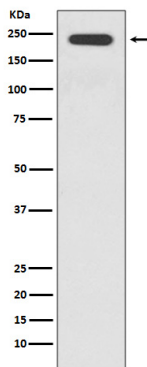
背景

複数の Notch 受容体のリガンドであり、Notch シグナル伝達の媒介に関与しています。造血中の細胞運命決定に関与している可能性があります。哺乳類の心血管系発達の初期および後期に関与しているようです。筋芽細胞分化を阻害します（類似性による）。線維芽細胞増殖因子誘導性血管新生を促進します（in vitro）。複数の Notch 受容体のリガンドであり、Notch シグナル伝達の媒介に関与しています（PubMed:18660822、PubMed:20437614）。造血中の細胞運命決定に関与している可能性があります（PubMed:9462510）。哺乳類の心血管系発達の初期および後期に関与しているようです。筋芽細胞分化を阻害します（類似性による）。線維芽細胞増殖因子誘導性血管新生を促進します（in vitro）。

研究分野

ノッチ;

画像データ



HepG2 細胞溶解物中の JAG1 発現のウェスタン プロット解析。